

ヤマ ガ シ
山鹿市

早田 順一 市長

山鹿市では、地元での仕事を増やして安定した暮らしの場をつくることにより、市民が将来にわたり希望をもって住み続けることができる地域社会の実現を目指しています。

お寄せいただいた寄附金については、若者の雇用の場の確保や人材育成、子育て支援など、急速に進む人口減少に歯止めをかけ、持続可能なまちづくりを推進するための重点プロジェクトに活用させていただきますので、皆様のご支援とご協力をお願いします。

寄付
御礼

- ・贈呈式開催(首長出席、寄付額10万円以上)
- ・感謝状贈呈
- ・地公体広報誌掲載
- ・HP掲載
- ・視察受入
- ・功労者表彰推薦
- ・紺綬褒章推薦
- ・その他

人口

総人口……49,044人
男……23,029人
女……26,015人
世帯数…19,525世帯

人口構成比

15歳未満……12.1%
15～64歳……49.9%
65歳以上……38.0%

面積

総面積……299.69km²
農用地……69.60km²(23.2%)
森 林…154.88km²(51.6%)
宅 地……15.94km²(5.3%)

教育機関

小学校……10校
中学校……5校
高等学校・高専……4校
大学・専門学校他…1校

産業構造

第1次産業……10,744(7.2%)
第2次産業……44,308(29.9%)
第3次産業……93,326(62.9%)
生産総額:百万円

高等教育機関

熊本県立鹿本高等学校
(普通科/みらい創造科)
熊本県立鹿本商工高等学校
(商業科/情報管理科/機械科/電子機械科)
熊本県立鹿本農業高等学校
(園芸技術科/食品科学科/生活デザイン科)

交通アクセス

■山鹿市役所まで
九州自動車道 菊水ICから……約10km
植木ICから……約12km
山鹿バスセンターから……約850m



※データは令和3年6月発行、熊本県市町村要覧をもとに作成しております。

山鹿市まち・ひと・しごと創生推進計画

〈SDGs〉関連するゴール



持続可能な「まち」をつくる!

基本
目標1

地域の未来を支える人材・組織を育て、つなぎ広げる

本市の人口減少に歯止めをかけ、地域の未来を支える人材を確保するために、意欲ある若者や有為な人材・組織を育成するとともに、そのネットワークづくりを進めます。

基本
目標2

明日の幸せを語れる暮らしをつくる

市民一人ひとりが将来に対する夢や希望、明日の暮らしを明るく語れる地域社会の構築を目指し、結婚や出産、子育て環境の充実を図っていきます。

基本
目標3

本市が成長するためのエンジンとなるような取組を戦略化する

基幹産業である観光業や農林業を市民や民間団体等との協働により本市をけん引する産業に育て上げることで、魅力ある地域資源が市民生活を支える構図を創っていきます。

重点
プロジェクト

e-City YAMAGA プロジェクト

分類 人材育成・確保

- 総事業費** 1,500千円 寄附目標額 —
- 計画期間** 地域再生計画の認定の日…2022年4月1日～2026年3月31日
- 数値目標**
- プログラミング学習受講児童数(延べ数) …… 180人(年間60人受講想定)
 - 山鹿版プログラミング学習成果発表会 …… 年1回開催

〈SDGs〉関連するゴール



eスポーツで山鹿を元気に！

本市では、新型コロナウイルス感染症の影響で希薄となった団体間や年代間のコミュニケーション不足、ネットワーク連携不足を改善するため、「eスポーツ」等を活用した事業に取り組んでいます。

現在、福祉・教育・観光といった各分野において、eスポーツ等に関する認知度や関係人口を増加させており、将来的には国指定重要文化財である八千代座でのeスポーツ大会誘致や、どの年代においてもICT人材が溢れているような「e-City YAMAGA」を目指しています。

特に応援していただきたい事業は、本市のモデル小学校で取り組んでいる、ゲームプログラミングができるソフトを活用したプログラミング学習です。ゲームを作る楽しさを通じ、プログラミング作成による論理的思考力、成果発表会によるプレゼン能力等の成長を図る先進的な事業内容となっています。現在はモデル小学校での実証実施、教職員向けの指導マニュアル作成の段階ですが、展望としては山鹿版プログラミング学習を全小学校へ波及させ、各校との交流だけでなく高齢者、障がい者、民間企業といった地域団体との様々な垣根を超えた交流を目指しています。

波及にあたっての機器導入費用といったハード面、企業様の助言といったソフト面をご支援いただければ幸いです。



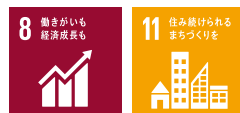
重点
プロジェクト

豊前街道の歴史的まちなみ再生プロジェクト

分類 まちづくり

- 総事業費** 55,000千円 寄附目標額 —
- 計画期間** 地域再生計画の認定の日…2022年4月1日～2026年3月31日
- 数値目標**
- 改修した空き家・空き店舗で開業した事業所数 (令和4年度から令和6年度まで) …… 9件
 - 改修した空き家・空き店舗で開業した事業所の利用者数 (延べ数) …… 147,000人

〈SDGs〉関連するゴール



魅力溢れる歴史的「まちなみ」！

本市では、豊前街道の新たな賑わいを創出することを目的とし、豊前街道沿いの空き家・空き店舗の改修費用の補助を実施するとともに、商店街振興を目的に創業・開業に対する家賃補助事業に取り組んでいます。

白壁の伝統的建造物が残る豊前街道周辺は、平成19年度「美しいまちなみ大賞」を受賞しており、国指定重要文化財の八千代座、山鹿灯籠民芸館、九州最大級の木造温泉さくら湯や、昔の商家を利用した飲食店や土産物屋が並び、あし湯に浸かり一息つきながら、ゆっくりと散策できます。

本補助で、オーガニックカフェや山鹿の温泉水を使用した餃子屋、ゲストハウス等個性豊かな店舗が増加しています。

今後も新規店舗を増やし、魅力溢れる歴史的「まちなみ」づくりを推進してまいりますので、企業様からご支援いただければ幸いです。



開業したゲストハウス

課題 1 地域の未来を支える人材の育成・確保



女性就労支援講座の様子

若者、女性、障がい者など就労を希望する全ての人に対し、それぞれに適切な就労支援を実施することにより、山鹿市の未来を支える人材を育成し、地元企業への雇用へとつなげていく必要があります。地域の未来を支える人材の育成・確保に向け、企業様のご支援、ご協力をお願いします。

課題 2 移住定住の更なる促進

移住定住の受け皿となる空き家の掘り起こしを強化するとともに、お試し住宅での移住体験を通じて伊集定住の確かな動機付けにつなげます。また、移住定住の中間支援組織の育成を強化し、移住定住希望者へのきめ細かな対応を図ります。移住定住の更なる促進に向け、企業様のご支援、ご協力をお願いします。



移住定住相談窓口

課題 3 安心して子育てできる環境づくり



子育て支援センターの様子

人口減少、少子化が進む中、小児医療体制の充実や不妊治療費用を含む妊娠・出産に関する費用の助成など、妊娠期から就学期に至るまで切れ目のない子育て支援を行うことで、子育てしやすい環境の整備を図り、安心して子どもを産み育てられるまちづくりを進めます。ぜひご支援をお願いします。

課題 4 新たな交流の促進

本市の核となるスポーツ施設が集まる「山鹿市カルチャースポーツセンター」の改修・機能強化を行い、更なる利便性の向上を図るとともに、リーフレットの作成や県外への誘致活動を強化することで、様々なスポーツ大会や合宿等を誘致し、交流人口の拡大を図ります。新たな交流の促進に向け、ご支援をお願いします。



山鹿市カルチャースポーツセンター